

令和2年度 第2回芦屋市立青少年愛護センター運営連絡会(書面開催) 回答書

※ご意見を頂いた委員のみ記載しています。

1.第2回芦屋市立青少年愛護センター運営連絡会資料に対する質疑応答(意見一覧)				
発言者	意見該当箇所		意見・質問 内 容	意見・質問に対する回答
	ページ	項 目		
渡部委員長	—	項目追加の提案	<p>各項で記載していること重なっても良いので、最後の項に追記してはどうか。 令和2年度はコロナで始まり、コロナで終わった特筆すべき年度です。</p> <p>【記載例】 10-1.コロナ禍への対応 (a) コロナ禍での市の対応 (b) 学校一斉休校と登校開始 (c) 緊急事態宣言への市の対応 10-2.コロナ禍の下での青少年の状況 (a) 乳幼児期 (b) 学齢期 (c) 青少年期</p>	「令和3年度 第1回芦屋市立青少年愛護センター運営連絡会」のレジュメに追加し、報告します。
倉内委員	P7	2.愛護活動 (2) 青少年育成愛護委員による街頭巡視活動	<p>子どもたちの中には家庭内が不安定なのか、暗い顔をしている子どももいます。 また、ルールを守らず公道などで遊んでいる子どももいます。 この時期、コロナウイルスの影響でストレスをためているようです。 民生委員児童委員も見守りしているが、青少年育成愛護委員の方たちも見守り、パトロールをしていただいて、とても有難いです。</p>	<p>青少年育成愛護委員会では、コロナ禍の最中でも、子どもたちの安全を第一にできる限り愛護活動に励んでいます。 お互い無理のない範囲で協力しあい、緊急事態宣言下においても活動を継続しています。 ※1月14日の緊急事態宣言発令を受けて、学校への登下校の時間帯に見守り活動やパトロールを実施しています。(原則15:30以降の活動は中止) 緊急事態宣言が解除された後は、従来通り夜のパトロールなども再開を考えています。</p>
	P9	2.愛護活動 (4) 環境実態調査	<p>コンビニエンスストアなどで図書類やその他に色々の調査をしていますが、愛護班通信にも書かれていた通り、レジ袋が廃止となり、精算を済ませず商品をバックに入れて持ち帰る大人や子どもが増えていきます。 買い物の際のエコバッグの持ち方を考えなければいけないと思います。</p>	<p>レジで精算をしないで持ち帰ることは犯罪であることの認識や大人のモラルの向上を期待するしかありません。なお、コロナ禍で収入減による経済的不安定な状況で起こることも想定されますので、支援の輪を広げる取り組みも必要かと思われます。一部では、生活用品を無償で提供している地域もあるように報道されています。</p>
	P11	8. 青少年問題協議会 (1) 芦屋市青少年問題協議会の開催	<p>若者相談センター「アサガオ」を知らない方がたくさんいます。 ひきこもり、ニート、不登校などの若者が市内にどれくらいいるかわかりませんが、将来40・70問題、50・80問題となっていきます。 このような状況避けるためにも、「アサガオ」のことを多くの方に知っていただきたいです。</p>	<p>①概ね15歳～20歳代の方へ 芦屋市青少年愛護センターでは例年、成人を迎える19歳～20歳となる市内3中学校の卒業生に若者相談センター「アサガオ」のリーフレットと名刺サイズのカードを成人式でお渡ししています。 また、高校生へと進学される市内3中学校の生徒に卒業前の2月～3月にかけて配布をしています。</p> <p>②21歳～30歳代の若者及びその家族へ 大人の方には直接お渡しできる機会が現在のところありません。そのため、青少年育成愛護委員の方々へ周知をさせていただき、日々の愛護活動を通して、大人へ啓発していただいています。</p> <p>③市のHPや広報誌にアサガオの活動予定等を掲載し、市民に啓発しています。</p>
入江委員 中村委員	P4	1.行事の経過 (3) 愛護委員会・愛護協会関係	ほとんどの行事が中止となる中、愛護委員会研修会オンラインセミナーが開催できそうで良かったです。	本年度はコロナ禍の状況により、行事が中止や書面での開催となり残念に思います。このような状況下で初の試みとなるZoomを使ったオンラインセミナーを開催できること、とても嬉しく思います。 コロナ禍でも活動できるように、当センターにおいても今後の参考にさせていただきます。
高橋委員	P16	3.広報・啓発活動 (4) 「愛のまなざし」の発行	寄せられた文章から、青少年育成愛護委員の方々の様々な活動内容、お気持ちがよく伝わってきました。 有難いと改めて思います。	<p>青少年育成愛護委員の皆様は日々、愛護活動を行っていただいています。 登下校や夜のパトロール、日中はパトロールを兼ねた清掃活動なども行っていただいています。 また、その時の状況に合わせて本年度は「路上駐車撲滅キャンペーン活動」を行い、学校周辺の交通安全対策なども行われました。</p> <p>学校の外では先生方や我々だけでは目に見えないトラブルに巻き込まれることがあります。 そういったリスクを回避するために、青少年育成愛護委員の皆様には、子ども達の安全を見守っていただいており、センターとして非常に感謝しております。</p>
荒谷委員	—	全体	コロナ禍の困難な時期の中、できる活動を丁寧に行っていることがよくわかりました。	
北尾委員	P8	2.愛護活動 (3) 有害図書定期回収	一般図書、有害図書が前年より低くなっているにも関わらず、有害DVD等が2.5倍近くにもなっている理由は何か考えられるのか。	緊急事態宣言等の発令もあり、お家時間が増え視聴時間の確保が簡単にできたことによる産物かと思われます。 また、図書類からインターネット利用による入手、閲覧が普及し、パソコンやスマートフォンなどのインターネット機器類から容易に購入できるようになったことも影響していると考えられます。

2.青少年の育成愛護及び非行防止に関する情報一覧

発言者	分類	内容	今後、当センターで取り組むこと
入江委員	防犯・整備	<p>1月25日 JR芦屋駅南地区のまちづくり座談会に愛護委員が出席しました。 (粟平町地域が取り上げられたため、山手地域と岩園地域の愛護委員6名の出席)</p> <p>子ども達の安全安心のため、たくさんの意見が出ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エレベーターのシースルー化 ・防犯カメラの設置 ・子ども達が逃げ込める公共の場など <p>今後、広報あしやに掲載されるそうです。</p>	<p>学校教育課を所管として、子ども達の安心安全のために、地域の方々の御協力をいただいて「芦屋市子どもを守る110番の家・店」として民間の家やお店に子ども達が危険と判断した際に駆け込める場所があります。 「アッシープレート」という、たまごをイメージしたキャラクターのプレートが貼っている建物が目印です。 当センターでは、例年はご協力いただいている家とお店にお礼及び継続確認のため、青少年育成愛護委員の皆様は訪問を行っていただいています。(地区によりPTAや地域委員の場合もある) 今年度はコロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となりましたが、今後も子ども達の安全のために、市民の方々には継続してご協力していただけることをお願いいたします。</p>
白山委員	インターネット・SNS	<p>「SNS上でのトラブルについて」 芦屋市内に居住の(青)少年の対応の中で、ツイッターにおけるトラブルが多いです。 安易に顔写真等を知らない人物に送り、脅されたり、友人間でもトラブルとなっている。 スマートフォン等を子どもに買い与える前に、親子間での決まりごとや学校等において、新入学生等への指導をお願いしたいです。 特にツイッターの使用については、注意を促してほしいです。</p>	<p>昨年度に続けて、芦屋市青少年問題研修会(中学校区青少年健全育成推進会議・青少年育成愛護委員会「合同研修会」)では、若者を取り巻くインターネットトラブルについて専門の講師を招き、講演会を行っています。 本年度も講演会を予定していましたが、コロナ禍の状況を考慮して開催を断念しました。 来年度は、コロナウイルス感染症拡大防止対策を考慮してオンラインセミナーにするなど開催できるよう検討します。</p>